

図友連職員調査（2024年）報告

図書館友の会全国連絡会・職員調査プロジェクト班

1 私たちが職員調査を始めた理由

1-1 これは図書館利用者による図書館利用者のための図書館調査です。私たちが頼みにしている大事な図書館がこれからもずっと元気に活動し続けてもらうために、図書館で一番重要な要素である「ひと」の問題をとりあげました。

1-2 図友連会員が主に地元の図書館を調査しました。統計書や図書館要覧を調べるだけでなく、図書館員から聞き取りしたり、館長に直接記入してもらったり、市役所へ問い合わせたり、知恵を絞っているいろいろなルートで調べています。私たちが図書館をもっと知るための機会にもなりました。

1-3 現在までに **58 自治体・97 図書館のデータ**が集まりました。参加のハードルを下げるため、分かるところだけ記入すればよいということにしたので、「不明です」「調べられませんでした」「指定管理会社から答えがもらえません」というような回答も多くありました。自治行政の情報が市民にどのくらい公開されているかも実感できました。

1-4 各地の友の会は地元の図書館やそこで働く人たちとの関係をとても大切にしています。そうした関係があるからこそ、今回の調査でも非正規職員の時給や勤務時間など、なかなかわからない情報が得られました。

図友連としては今回の調査で、こうした各地の会と図書館との関係を少しでも損なうことが無いよう、一般公開については「一律匿名」にしました。図友連ホームページの会員限定ページのみ、実名表記の原本を掲載する予定です。

2 図書館の非正規率は高い

2-1 調査自治体の非正規率は平均 32%、それが図書館になると平均 67%にまで上がります。中でも**正規職員ゼロが直営 1 館・指定管理 13 館**ありました。（日図協調査の非正規率は 76%です。この差は、今回の調査対象館が分館ではなく中央館が多かったためと思われます）

2-2 非正規率 80%以上は直営 15 館・指定管理 1 館でした。小規模自治体や業務委託を行っている館は直営でも非正規率が高くなる傾向があります。

2-3 正規司書率は 55%、非正規司書率は 67%でした。正規司書率ゼロが直営で 6 館・指定管理で 7 館あります。

2-4 正規ゼロ館と正規司書率ゼロ館の合計は直営 7 館・指定管理 20 館で、ここではすべての図書館業務が非正規職員によって担われていることとなります。

3 待遇から見た非正規職員

3-1 非正規職員の時給は平均 1125 円、その地域の最低賃金との差は+128 円でした。また、最低賃金との差の一番少なかった館はゼロ円、つまり最低賃金と同額です。最高額を示していた館は+547 円でした。一律に「非正規の待遇」とまとめられないような差です。自治体による専門職としての司書の評価が見えると同時に、**現状のシステムの中でも改善の余地はある**ことがわかります。

3-2 1 週間の勤務時間は平均 32 時間です。フルタイムの会計年度職員がいるのは 2 館のみ。**専門司書として働きたいと思っても、フルタイムの仕事は見つからない**こととなります。「勤務時間を柔軟に選べる」などと宣伝されていますが、実際には選択肢がありません。

3-3 最長はフルタイム勤務と同じですが、最短は週 15 時間 30 分、週 25 時間以下が 5 館ありました。これではほんとうに細切れ勤務になってしまいます。

4 非正規職員の仕事ぶり

4-1 非正規がレファレンスをしていると記載があったのは 15 館、選書まで行っているところが 13 館ありました。さらにそのうえの、「**図書館業務すべて**」という回答が 20 館ありました。(2-4 と数がちがうのは、回答のなかった図書館があるためです)

4-2 利用者からみて正規職員・非正規職員の区別がつくかどうか、という点では、見分けられないが 40 館、区別があるが 15 館でした。しかしそこでも、エプロンの色が違うがその理由を知っている利用者は少ない、などの注記つきが大半でした。**非正規公務員は見えない存在に**されています。

4-3 自由記述欄では、非正規職員は「(正規に比べ) **経験があり図書館のことをよく知っている**」「**頑張っている**」という評価が多い一方、「待遇が悪いので優秀な方が辞めていく」「非正規に頼った運営のため、正規の職員のスキルが上がらない」「行政への働きかけが低下」などの指摘がありました。

5 市民は専門司書を望んでいる

*21 の団体が職員問題について要望書や選挙時の公開質問状を出したことがあるという回答でした。そのほか、図書館協議会で話題に出した、館長面談のときに要望した、など様々な機会をとらえて職員問題の改善を訴えています。また、この調査の時に初めて館長と話した、というところもありました。

最後に非正規職員さんへのインタビューをご紹介します。

分館では正規職員は館長一人のみ。他の全員は非正規で、30 時間以内の週 3 日勤務の交替制。自分が勤務していない日のことは分からない(とても忙しい職場で引継ぎもうまくできていない)。前日までに受けた質問やリクエストなど答えられない状況がよくあった。

全体のことがよく分からない中で忙しくひたすら業務をこなしていた。顔なじみの利用者からは、突然、多くのカウンター職員が入れ替わった時に「なんでやの。全員、市の職員さんと思っていたわ。」と言われた。

この調査結果は図友連の大事な財産です。これからも新しい情報を蓄積し続けていきたいと考えています。引き続きご協力をお願いします。